

常磐宙日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
廣告料 五號十二字 日行五元 日行五元
日曜祭日の翌日休刊
發行所 常磐 毎日新聞社
印刷所 常磐 毎日印刷株式会社

蘭盆縁起と 施餓鬼經の話

真繼 雲山

二、目連尊者の一代記
お盆は、いつごろから、
どういふ謂はれて始まつた
かの縁起を申しあげます。
それにつき先づその中心人
物である、目連尊者の御一
代記を簡単に述べてをきま
す。

目連尊者は、はしくは目
連健連といひ、智慧第一の
舍利弗と共に、神通第一と
して佛十大弟子の筆頭役で
ありました。中印度摩竭陀
國の首都、王舎城の北方に
ある俱離迦といふ村の婆羅
門の家に生まれました。富豪
の一人息子として、父母の
熱愛のうちに育つた彼は、
初め耨闍郁といふ、婆羅門
の師匠に就いて學びました
が、馬勝比丘を縁として、
舍利弗と共に半途、竹林精

舎に往いて釋尊の弟子とな
りました。
佛門に投じて後、彼れは

ノート

魚形水雷
の射程は
日清戦争

當時僅かに四百米に過ぎ
なかつたが現在では、二
萬米に達するものがある
といふ

各地に遊行して佛の化導を
扶け、神通第一の譽れを得
て上足の弟子に加へられま
した。佛はかつて「大衆が
淨き行を修する上において
舍利佛はその生みの母であ
る、目連はその育ての母」
つまり養母である」とたと
へられた程でありました。

紛も不淨をつゝむ外の何も
のでもないぞ、嬌態の底に
ある悲しみを凝視せよ、自
暴と自棄から甦れ」と、嚴
かに教誡して、遂に彼の女
を永年の惡夢から救ふたと
いふ話があります。

短歌

栗原 茅村

◇……◇
明日の献立
◇……◇
【朝】 味噌汁—豆腐 小
付 胡瓜漬
【晝】 小饅頭焼き
【晚】 トマトの薄切清汁
いわしつみ入れ 牛
肉時雨煮

佛滅前八年のこと、提婆
達多が自立して佛の化導を
妨げようといはしました時
目連は舍利弗と共に、提婆
の籠つてゐる伽耶山にいた
り、提婆に欺かれて、その
門下に加はつてゐる五百人
の佛弟子に對し、神通をも
つて彼れ等を悔悟せしめ、
これに伴れ歸つたことがあ
りました。

また當時、フトした惡縁
から倫落、淵に沈んでゐた
姪女、蓮華色女が、容姿端
麗な目連を藥籠中のものに
しやうと焦つたとき、彼れ
は神通をわらはして身を空
中に躍らせ「惡女よ、汝の
不淨に心づけ、誇らしき脂

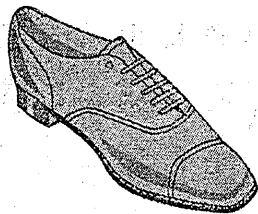
父白鴻院新益佛事上小戸村生家に於い
て相營可申候處誠に勝手乍供物一切辭
退申上候

白井 一郎

淨國院新益に相當候處甚だ勝手がまし
く候へども提灯その他供物等一切御辭
退申上候間御諒承願上候

平町 鍛冶町

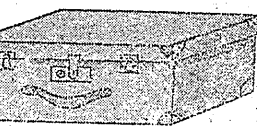
施主 國府田直良



夏!!!

道歩く紳士の足も!
は白靴にかゝやく

- A 先づ何よりも白靴
足も軽けりや心も躍るよ
 - B 成程麥藁をかぶつて黒靴で
ちよつと………へんだね
- 断然安い菊地の白靴一九三四年型に
すると云つてやつたがね………
四丁目驛通り



既製菊地靴カバン店
電話 六五九番

看護婦急派

の求めに應

じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

夏は行け!

海へ………山へ………

炎天灼くが如き八月ともなれば海へ山へと憧れる
のは人間の本能であります。
是非お出かけ下さい。

セリザワノニューカーで!

平・三 芹澤タクシ

電話 539

特約 三菱ノ………

菊菱號自轉車

(全部マークス) 實用堅牢車

平局御用 エビスヤ自轉車店

平南町 電話六六四番

外科 内臓外科

レントゲン線

◇備完室病◇

醫學博士 諸橋 鐵彌
◎新川町二七(電四六四)

八月二十三日より三日間(舊十四、十五、十六日)
今秋冬の新流行

吳服大陳列會

江戸づま、丸帯、錦紗小紋、繪羽織、銘仙

平町 三井吳服店

月曜是非

諸橋氏の農銀重役就任

暗闘に終始した農工の重役問題も漸く納りが付いた。當方部からは金成通氏、諸橋久太郎氏の兩派が互角の勢力を保持して譲らず、潜伏性の熱度を昂めて居たが結局諸橋氏の勝ちを制する處となつた。

而し諸橋氏の爲めに此際お座也的の祝辭を呈する能はざるは、今後此問題の胚胎する幾多の危険性を豫斷し得るが故である。

諸橋氏はその財政的に又人物的に見て農銀重役として遜色なきは萬人の比しく認むる處であらう、然れ共遜色なしの一事を以て必ずしも適材適處也と斷定するを得ないのである。

諸橋氏の如きは平町として正に取つて置き人物の一人である、此の人に依らずんば爲す能はざる難關に遭着せる際、初めてその勞を煩し、その眞價を發揮せしむべき、最後の切り札的存在であると思ふ。輕々に同氏を擔ぎ上げて血祭りの犠牲に供へ、若し同氏の將來を阻むが如き結果を招かせば、獨り同氏の損失のみならず、平町として大なる不利益の痛手を蒙るを保し難しと思ふ。

一方金成氏はその力量手腕に於て既に試験済の人物である、同氏が上院議員を踏み臺として今後益々方

の爲めに最善の努力を惜しまざる意氣込みに燃え、農銀重役の再選を希望して居る場合、此人を敵とし、此人を排して迄も、諸橋氏が輸贏を決せずばならぬ理由が奈邊に存在するか吾人は解釋に苦しむものである。農銀の内容たるや、實に錯綜複雑を極め、至極面倒な暗闘が間斷なく展開されて居ると聞く、斯かる煩瑣な渦中に、無傷の諸橋氏が突入して、果して得る處幾干か？、吾人は多數の反對を押し切つて遮二無二重役の椅子を獲得し、禍根を後に残す事が諸橋氏將來の

爲め也と考へる事は出来な。諸橋氏は當初より出馬の快諾を與へず、同氏自身は最後迄積極的運動を敢えて爲さなかつた模様であるから此点には此人に一層明ありと爲すべきであり、従つて競争に没頭した側近者の責任は一層重大である。故に今後残る處は、側近者が同氏に此の椅子を占めさしむべく、郡南の勢力金成氏一黨との間に醸し出された悪氣流を、諸橋氏自身に波及せしむる事なき様にその責任の歸趨を明らかにすべきである。

保険詐欺を一般に警戒

平局長が語る

不徳漢が徘徊

平郵便局では最近保険加入者に對し解約を慫慂し不當の利益を貪らんとする不徳漢が各所に徘徊してゐるの

これ等の徒輩を一掃せんと目下警戒中であるが尙契約者に於ても充分注意して欲しいと戸石平郵便局長は語る『去る七年にも大體之と類似の營業者が現れたが之は

掛金拂込の困難な加入者やその他現金の必要に追られ居る様な加入者を見付け其の弱點に付込んで果

うにして載き度い、若し保険に關し用事のある時は出局するなり(電話一八〇番)或は書面にて通知さへして載ければ
早速係員が出張親切に相談に應じるは勿論種々の手續も上げてますから特に手数料を出して商賣人に手續を依頼する必要はありません』

桑園買収

割當寄附

平蠶業取締所では今回信夫郡中野村に設置される國立原種製造所桑園買収寄附金の本郡割當を左記の如く割當て近く募集を開始すると

- (一五圓) 永戸 三坂 (十圓) 入遠野 (二二圓) 川前 小川 草野 田入 山田 上遠野 (九圓) 平窪 錦 (八圓) 植田 川部 赤井 大野 (七圓) 夏井 (六圓) 高久 泉 渡邊 (五圓) 磐崎 勿來 (四圓) 四倉 神谷 好間 (三圓) 豊間 平 鹿島 飯野 (二圓) 内郷 江名 玉川 (十圓) 大浦

庭球出場費を

平商卒業生が募集既報來る二十四日仙臺市に於て開催される關東北、北海道中等學校庭球選手權大會に出場する平商庭球部は目下室原部長が費用捻出に頭を痛めてゐるがこれを耳にした同校卒業生鈴木武雄

軍事武術の豫選

石城分會は來月二日頃に

在郷軍人石城聯合分會では福島支部主催の縣下武術大會が來る九月二十一、二日の兩日郡山市第二小學校及び若松市小田山射撃場に於て開催される事になつたので明日午前九時より平商

過般の縣大會に

刺戟されて白熱

分團對抗野球期待さる

平町青年團主催各分團對抗軟式野球大會は來月九日及び二十三日の兩日第一及び平商球場に於て開催する事に決定、今年各ナイン共過般の縣下中等大會に刺戟され猛練習中であるから一層の白熱戦を豫想されてゐる

郡下青年團對抗

平町代表選手決定

平町青年團体育部では來る九月十九日午前八時半より警中グラウンドに於て郡下各青年團對抗陸上競技及び武道大會が開催されるので昨夜午後七時より体育部長佐々木俊雄氏宅に役員參集出場選手詮衡の件に就いて協議したが各種目の代表選手左の如く、相撲、劍道、四百米、千米瑞典繼走は追て決定する由

幸先よ腕試し

警中新チーム大勝す

來春小野主將以下阿部(兄)百澤、草野、柏原等五名の現選手を送り出す警中野球部では早くも來年の大會に備へ阿部(弟)石川、若松、高羽、秋山等が主力となり新チームを編成過般來練習中の處去る十八日午後二時より同校球場に於て一戦の

平町人専

白銀町鐵道官舎大樂峯次郎氏四女トミ子

澤保夫(白銀)▲表擔片寄 弘伸(搔樋小路)▲砲丸投 菅野淺雄(長橋町)柔道白 井晃(仲間町)推根保美 (長橋町)

平土木勝つ

昨日のリーグ戦 平土木監督所 夏井川改修事務所 原町土木監督所の 野球リーグ戦は昨日午前八時半より富岡小學校球場に於て舉行

平土木	6A	4	原町
原町	9	3	夏井
平土木	6	4	夏井

部木村耳齋子井田谷 阿荒上玉小増國氏竹 竹捕一二三遊右中左 平署對古河武道 既報平署對古河炭礦の劍道試合は 昨十九日午前十時より平署 道場で行はれたが個人試合 は六對四で平署が勝、紅白 試合は大激戦の末廿五對廿 三で古河辛勝した

右傾團員がねらふ

黄金の寶物!

飯野八幡と赤井薬師を襲ふ 黨の運動資金に當てんとす

統天塾員の陰謀

既報去月末平署で檢舉し警視廳に押送した東京青山高樹町郵便局を襲撃したビストル強盗事件の運果者渡邊甚内(三)は其後警視廳で嚴重な

取調の結果

同人は右翼團體統天塾の資金獲得の爲め平町の神社名刺を襲つて秘藏の寶物窃取を企てた意外な事件を自白した。同人は昨年十月上京し懇意であつた塾生折笠彌之(三)の紹介で塾長藤村又彦と面會した際右翼運動の歴史及び方針を聞かされて共鳴し平町に鎮座する縣社飯野八幡宮に黄金製馬像

柔道四段の

猛者とも知らず

住吉屋に怪賊

昨十九日午前二時頃平町紺屋町旅館住吉屋本店客間に一名の怪漢が忍入り金品を物色する物音を女中が聞き付け主人に知らせたので旅館主青天目源一郎君がその

山口生れ住所不定窃盜前科二犯吉田正元(三)で昨夜十二時頃同旅館便所の腰板を

平附近夏井川工事

潰地買収漸次解決す

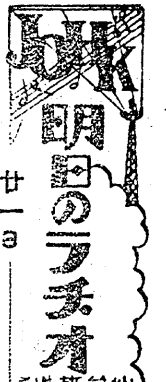
本年度工費卅三萬圓の夏井川改修工事は潰地買収で行き滞り決定よりも着工が遅れたが平町、平窪方面は五

体操の會

けふ終る

頗る好成绩

第一及び第三兩校庭に開催中の平町ラヂオ体操の會は今朝青沼町長の閉會の辭を以つて閉會の幕を下ろしたが参加者の延人員は第一校三萬五千六百十二人(一日平均千七百八十一人)第三



今晚も明日も北東の風晴曇半す

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
お話し「夏の空」野尻抱影
後六、二五 講演「最近に於ける、米價の騰貴に就て」平井 文三
後七、三〇 謡曲「阿漕」

明日の部

後八、〇〇 浪花節週間(第一日)「唐人お吉」
後九、〇〇 青年特別講座「東と西、今と昔」
後九、三〇 時報ニュース
氣象通報 番組豫告

無錢飲食

常習捕る

静岡縣伊豆郡伊豆町湯川生れ漁夫小澤勝次(三)は去る十八日午後一時頃小名濱町古港料理店三浦屋事三浦コウ方で三圓餘の無錢飲食を働き檢舉されたが其他餘罪四件あり嚴重目下取調中

また一難

幼児に衝突

平町二丁目三井自動車店運轉手加村正富(三)は昨十九日午後四時頃乗合自動車を

渡米後音信なき

兄に失踪の宣告

本日平支部で申渡し

既報双葉郡浪江町大字川添字聖澤二一林泰一(三)が去る二月二日松野尾辯護士を代理人とし渡米した儘音信不通の兄林文彌(三)を相手取り失踪宣告の申立を平支部に提起した事件は其後平

残暑厳しい折柄

幼児の溺死頻々

内郷村大字白水宮濱井場嘉吉長男鈴木康夫(七)は十八日午後一時頃友人と同村内町地内磐炭排水池内で水泳中溺死したが昨十九日は同村大字小島宇新町會壽二男藍原正(三)も母の不在中自宅裏の用水堀に轉落して溺死した

逃げた妻

亭主が搜索願

湯本町大字傾城字前作澤徳太郎妻松本ウメノ(三)は去る十五日金銭上の事で主人から叱責されたのを悲感して無断家出したので本日亭主から平署に捜査方を願出た

平職界の所報告

△出前持 二十前後 尋卒
△給料面談
△女中 二十前後 高卒
△鍛冶工 四十以下 尋卒

店主が店員	を連れて行く	か	れる	正	シ	イ	酒場
食	堂	茶	場	正	シ	イ	酒場
平・田町	レストサロン	電二五三番					

近新音頭

(藤原上院及上院)

田邊南龍(作)
山本英春(書)

…一四…

百年目が仲様に
出来なげりやアかうして
あびせる」
と、突然手桶を取つてシ

ヤーツと放る
「エ、イ何をする」
とギラリ抜いた刀で、飛

んで来る手桶を横に拂つた
から、手桶はこわれて邊り
一面水。
「サア此方へ来い」

と長兵衛表へ飛出す後か
ら藤兵衛一刀を持つて切込
んで来る
「ソレ藤兵衛さんと長兵衛

さんの喧嘩だ」
と云つて近所の人は逃げ

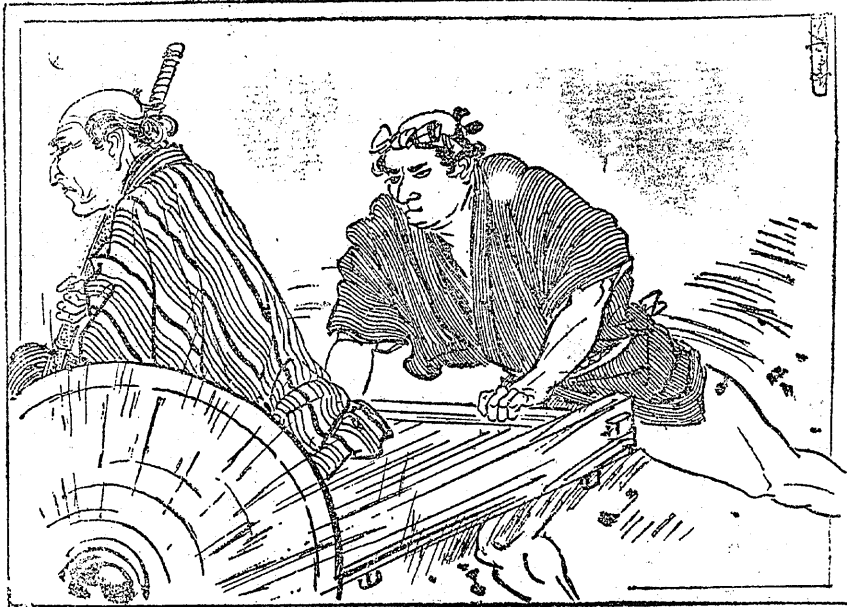
惑ふ往來は一通りならざる
騒ぎと相成りました、然る
に茲に天満、老松町と云ふ

處があります、其處に百年
目長兵衛と云ふ顔役があつ
て當時七十に近く煩つて寢

て居たが、この話を聞いて
「藤兵衛は阿波浪人で劍術
は指南の出来る腕、その者

と切り結んで居るところを
見れば、全く江戸の長兵衛
さんに違ひはないこりや仲

兩者の間へ這入つて、百年
目長兵衛
「この喧嘩は俺が預かつた
ヤア、待つて貰ひたい」
と云ふところへ天王寺屋
の若い者が来る鹿島屋の若
い衆が出て來て双方共に引



を聞いて見ると
「始めはこれ、終りはし
かじか…」
「成程元々貴郎さんが幡隨

院長兵衛と云へばそんな無
禮をしますまいが、半兵衛
だなんて云ひなすつたから
こんな事になりまされたので
就ては朝比奈藤兵衛を始め
私共と貴郎さんと兄弟にな
つて、貴郎さんの弟分にな
りませう、どうか機嫌を直
して兄弟の盃をしい貰ひた
い」
「それちやアさう云ふ事に

ひを立て、以來水あびせ
がないやうになりました、
サテ藤兵衛、五郎吉を始め
として、江戸の兄さん
と云つて今日は芝居明けは
藝妓買と之つて遊んでゐる
天王寺屋の家にも肩が
詰るから、難波新地に意氣
な貸座敷があつたので、其
家を借つて住まつて、毎日藝
妓などを買つて居る中に梅
野と云ふ藝妓がある、年増
で萬事氣が利いてゐるから
氣に人り其者を身受をして
歸る時に一緒に江戸へ連れ
て行つて、相當のところへ
縁付けて遣らうと云ふ了簡
二六時中手許へ置いて可愛
がつて居りましたが或晩の
事で長兵衛、百年目長兵衛
小喧嘩五郎吉、帆柱伊之助
鹿島屋久右衛門の手代天王
寺屋の藤吉、左官の源太郎
と大勢で、お酒を飲んで遊
んで居る、時に長兵衛が
「さて皆さんに私が御頼み
がある」

氷は魚清!!!
氷の御用命は
電話四六七番へ
平町二丁目警察署通り

魚清氷卸部

江名町築港内
支店 江名販賣所
電話六九番

門專 科柳花外
院醫科外村木

際橋 目丁六町平
番九〇三話電

佛位牌 佛檀
佛具
特賣

早い目が御得です、品種豊富、撰擇御自由、
平町三丁目三六(北裏)

吉田眼科病院

醫學士 吉田 久雄

門專 産婦人科
花柳病科
○入院隨意

井坂醫院
平町田町 電話五五九番

提灯
御新佛の戒名人
岐阜提灯各種 大勉強

角形一對 二、五〇〇、二〇、〇〇マデ
瓜形一對 一、八〇〇、一、〇〇マデ
尚御好みにより値も品も色々に調製致します
御電話トされば早速見本持參御伺ひ致します

スガノヤ提灯店
平四、電九五番

中村齒科醫院

平町鍛冶町七